



「名教 新学習指導要領対応宣言！」

まずは、「新学習指導要領」の内容を簡単に紹介します。

【新学習指導要領の目指すところ】

新学習指導要領では、生きる力を育むことを目指し、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などを育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うためには、言語活動を充実することとしています。

【新学習指導要領に示された教育内容に関する改善事項（抜粋）】

言語活動の充実

- ・言語活動を各教科の指導計画に位置付け、授業の構成や進め方を改善する。

理数教育の充実

- ・知識、技能の定着のための繰り返し学習や、思考力や表現力等の育成のための観察・実験、レポートの作成や論述などを行うために必要な時間を確保する。

伝統や文化に関する教育の充実

- ・国語科での古典の重視、社会科での歴史学習の充実、音楽科での唱歌・和楽器、技術家庭科での伝統的な生活文化、美術科での我が国の美術文化や保健体育での武道の指導の充実

道徳教育の充実

- ・基本的な生活習慣、最低限の規範意識、自分への信頼感や思いやりなどの道徳性の養成、法やルールの意味や遵守の理解

体験活動の充実

- ・集団宿泊活動（小学校）、職場体験活動（中学校）、奉仕体験活動や就業体験活動（高校）の推進

小学校段階における外国語活動

- ・中学校段階の文法の前倒しではない。
- ・英語の基本的な表現に慣れ親しみ、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- ・教科とは位置付けない。

社会の変化への対応の観点から教科等を横断して改善すべき事項

- ・情報教育 ・環境教育 ・ものづくり ・キャリア教育 ・食育 ・安全教育
- ・心身の成長発達についての正しい理解

次に、これらを具体的に実行していくにあたり、名教でも、調査・研究したことのうち主なものを、かんたんにご紹介します。

経済協力開発機構（OECD）の国際学習到達度調査（PISA 調査）

フィンランドが3回連続世界1位。2010年12月に、2009年度の結果が報道されました。日本の順位は、読解力8位（2006年度調査では15位）、数学的リテラシー9位（2006年度調査では10位）、科学的リテラシー5位（2006年度調査では6位）でした。前回より順位が上がったことに、文部科学省の関係者が胸をなで下ろしていたのは印象的でした。

秋田県の取り組み

秋田県は、「全国学力・学習状況調査」で、小中学校とともに、高順位をキープしています。学び合いの授業作り、家庭学習ノート、学力調査の分析と指導改善など、様々な取り組みをした結果です。

東京都杉並区立和田中学校の取り組み

藤原和博氏が義務教育分野で初の民間人校長として務めた学校です。よのなか科、夜スベで、有名になりました。

韓国の英語教育

韓国は、1997年から小学校英語を必修化し、英語教育を進めてきました。その成果が、TOEICスコアや、国際市場におけるサムソン・LGなど韓国企業の躍進という形で現れたとされています。日本の文部科学省も、韓国の英語教育について調査をしており、新学習指導要領における小学英语の必修化のモデルの一つになっているようです。

ベストセラーとなった教育関連書籍

陰山英男先生の「百ます計算」、小河勝先生の「小河式プリント」、斉藤孝先生の「美しい日本語の音読や暗唱」などが、ベストセラーとなりました。これらについて、単にその書籍だけでなく、どんな活動をしたのか、どんな理論があるのかといった視点でみるのが大切と考えます。

これらの活動や考え方は、生きる力を育むことに実績を残してきた事柄です。これらの全てが、絶対的に良いということでもありませんし、この地域の子どもたちに合っているとも限りません。私たちは、これらについて調べ、参考にしながら、名教流にアレンジをしたいと考えています。今後、名教では、次のような活動をご提案します。

思考力、言語力、PISA 型学力を育てる授業を展開します。全講師が、関連書籍を読んだり、話し合ったりして、担当する授業の構成や進め方を改善します。特に、国語授業の改善をします。言語活動を中心的に支える教科は国語だからです。また、算数など国語以外の授業においても、読解（文章問題）、記述問題の比重を高めるようにします。

体験学習やイベントのレポート発表会、読書感想文発表会などの言語活動を取り入れたイベント（紙上発表会などの広報物も含む）を企画します。

作文、意見文、小論文を書くトレーニングをできるような提案をします。夏休みに多くの方にご参加いただいた「思考力トレーニング」(Shikoトレ)が、中日新聞の取材を受けました。このような授業を、今後も継続して提案します。

大学や私立高校と連携した理科実験教室を実施できるよう検討します。

理数系（パズル道場など）のイベントを実施します。年賀状版「ほっぶすてっぶじゃんぶ」のクイズは、ご家族で解いていただけましたか？

国語授業で、論語、古文、名文の読解に取り組みます。名文・近代文学作品の読書感想文が書けるといいなと考えています。

イベント活動の充実を図ります。農業体験、職業体験、自然体験など、どんなことができるかまだ分かりませんが、有意義な体験をしてほしいと思っています。

名教では、すでに、「MEIKYO えーごキッズ」として、小学生から英語学習をスタートすることをご提案しています。将来、英語が使える日本人を目指し、「MEIKYO えーごキッズ」を、さらに充実します。

「名教 カノート」の実践。名教では、「やっぱり、毎日、勉強しなくちゃ。」をキャッチフレーズにしてきました。子どもたちの学力を支えるのは、やはり地道な努力の積み重ねです。毎日、コツコツと勉強できるように取り組んでほしいと考えて、この4月から、「名教 カノート」をスタートします。詳細は、P.27をご覧ください。

新学習指導要領について、さらに知っていただくため、今後も継続して、これに関連する情報をまとめ、お伝えしてまいります。

これらの活動のうち、すぐにご提案できるものとそうでないものが、正直あります。できる限り、いろいろなご提案ができるように努めてまいります。ご期待ください。

また、これに関連する活動のお知らせには、統一の「新学習指導要領対応！」マークをつけます。ご参考にしてください。